

KEY TOPIC

全国で『地域みっちゃく生活情報誌[®]』拡大中！ 5,000万部発行に一直線

現在1,100万部を超え、国内随一となるフリーメディア・プラットフォームに成長した『地域みっちゃく生活情報誌[®]』。それでも最終目標である5,000万部発行を目指し手綱は緩めません。今期は佐賀県の『月刊ぶらざ』、秋田県の『月刊エー・クラス』のVC加盟をはじめ、北海道千歳市・恵庭市に発行した『AO（あお）』を皮切りに続々と創刊を予定。拡大スピードが加速しています。

創刊ラッシュで 情報誌網を拡充

1994年に『かにさんくらぶ』を創刊し、2012年から開始したVC事業を経て積み上げてきた『地域みっちゃく生活情報誌[®]』のドミナント戦略。第47期はその勢いが増し、ますます強固になっています。

まず、北海道で6誌目となる『AO（あお）』（60,000部発行）が、北の玄関口である千歳市と恵庭市に誕生しました。滝川市・砂川市・赤平市等で発行する『SORA』と、札幌市内で発行するVC誌の『ふりっばー』を合わせ、北海道内の総発行部数は100万部に迫る927,540部になりました。

拡大の勢いはさらに加速します。愛知県では34誌目となる『オレンジクラブ』（34,000部発行予定）を蒲郡市・幸田町に新規創刊、35誌目となる『フリモかわら』（42,400部発行）を碧南市・高浜市にリニューアル創刊予定。愛知県内の総発行部数は240万部を超える見込みとなり、確実に点から線、面へと成長を続けています。

また、和歌山県では2誌目となる『まいとん』（23,000部）を橋本市・かつらぎ町に新規創刊予定。昨年度に一体化した関西ほどと共に近畿地方での存在感を高め、株式会社ぶらざとのVC契約締結によって佐賀県も一気に拡充します。

『AO（あお）』新規創刊に向けた思い



AO編集室長
高橋みのり

自分の生まれ育った北海道の地で、この度、千歳市・恵庭市の『地域みっちゃく生活情報誌[®]』『AO（あお）』を創刊することができました。「中広」という会社名に聞きなじみの無い地域の方々に、本当に温かく迎えていただき、地域の情報がたっぷり詰まった28ページの情報誌を作ることができました。「創刊したらここに設置しても良いよ！」「イベント情報ならいつでも教えてあげるよ！』と、創刊への応援の言葉をたくさんいただきました。ご縁をいただいた飲食店様では、AO創刊の告知画像を店内モニターで流していただいています。地域の同業の方々からも、代理店や情報提供というかたちでご



創刊号で予算達成の『AO』。6月20日発行

日本の全世帯へ情報誌を 1,500万部は通過点

首都圏への攻勢も強めます。埼玉県ではすでに県内総発行部数が100万部を突破、今期はCMS（中広メディアソリューションズ）によって神奈川県、東京都も拡充しています。さらに、空白県への進出も順次進んでいます。株式会社アクティブエローとVC契約を締結したことで秋田県をフォロー。これにより東北地方は6県中、半数を超える4県で発行、広島県廿日市市には『はつカラ』（41,000部）が新規創刊

愛知県
蒲郡市・
幸田町

オレンジクラブ
orange club

7月26日創刊予定（毎月第4金曜日発行予定）
34,000部発行予定

愛知県
碧南市・
高浜市

フリモかわら

8月23日リニューアル創刊予定（毎月第4金曜日発行予定）
42,400部発行

和歌山県
橋本市・
かつらぎ町

まいとん

8月20日創刊予定（毎月20日発行予定）
23,000部発行

広島県
廿日市市

はつカラ
hatsukaRa

8月20日創刊予定（毎月20日発行予定）
41,000部発行

を控えているため、中国・四国地方は9県中4県で発行となり、8月には『地域みっちゃく生活情報誌[®]』が33都道府県に展開する予定です。

第47期の目標である1,500万部達成に向け、着実に歩みを進める『地域みっちゃく生活情報誌[®]』。しかしこれは最終目標である5,000万世帯到達への通過点です。そして5,000万部発行の目的は言うまでもなく、全国津々浦々の地域に情報という血液を通わせることで地域経済を活性化し、人々に笑顔を届け、日本そのものを元気にすることに他なりません。

※新規創刊媒体のロゴ、部数は変更になる場合があります。

協力を賜り、無事発行を迎えることができました。

この度の創刊にご協力いただきました皆様に感謝申し上げますと共に、地域に根を張った情報誌を発行し続け、地域経済の活性化に寄与していくことを誓います。

発行部数 60,000部
（無料各戸配布59,000部、無料設置1,000部）

発行日 毎月第4週木曜日
発行エリア 北海道 千歳市、恵庭市

COLUMN

人生二度なし 「心の鬆」をつくらぬように

2050年、あなたは 何歳ですか

厚労省が人口動態を発表しました。2023年の合計特殊出生率は1.2、出生数は72万人。30年前の1994年、出生数は124万人でした。政治が知恵と予算を注ぎ込んでいるにもかかわらず、4割減が現実です。

約15年後の2040年には、3人に1人が65歳以上で、高齢化率35%。3軒に1軒が空き家となり、2,356万戸にのぼります。年間死亡者数が約170万人になり、1,100万人の労働供給不足に。

さらに2050年には、今住んでいる居住地域の約5割で人口が半減し、約2割が無居住化します。65歳以上の高齢単身世帯が1,000万世帯以上となり、全世帯の2割超に達します。日本の人口は移民政策をとらない限り、1億人を切ります。

そして、今後25年の間に間違いなくやってくるのが南海トラフや首都直下型の大地震です。自然災害が起こらないよう願うばかりですが、発生の確率は少しずつ高まっています。一極集中の東京が被災したらどうなるのか。物流は途絶え、食糧や生活用品を確保できなくなります。首都が機能しなくなれば、国家の混乱は必定です。

都会に暮らす人々は地方にセカンドハウスを用意すべきだと、養老孟司先生は提案しています。備えあれば憂いなし。それが未来を生きていくための知恵と方法だと。そして、食糧やエネルギーなどを自給自足しながら、生活を持続させる環境を自ら用意すべきだとも。

フランスの文化人類学者が発表した「プリコラージュ」という概念があります。「ありあわせの道具や材料を用いて自分の手でモノをつくること」を意味します。養老先生はその実現が個々人に求められると警鐘を鳴らしています。

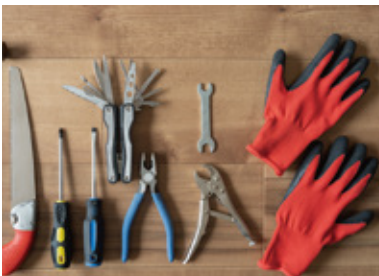
もしも首都直下型の地震が起こっても、都会の人たちを受け入れる準備を地方がしていれば、「プリコラージュ」は可能であると、私も思います。

養老先生曰く、大地震が発生すれば、合理性や経済性、生産性を追求してきた時代とは全く逆な方向に進んで行かざるを得ない。一人ひとりが自活し、足元から暮らしを積み上げていくような社会になる。地方が受け皿となり、地域それぞれがその役割を果たしていくためにも、「地域が元氣」でなければいけません。

出会いと縁 一号一会の情報誌

『地域みっちゃく生活情報誌[®]』7月号136誌、元気に発行エリアのご家庭にお届けできました。印刷に關与して下さったみなさん、一軒一軒丁寧にポストまで運んで下さった配布員のみなさん、おかげさまで読者の手元に届けることができました。本当にありがとうございます。

7月号を発行するに当たって、情報誌の作り手一人ひとり、どれだけ心血を注いດでしょうか。ページを埋めれば良い、数字を上げれば良い、そんなおさなりな気持ちで安易に作ってはいないはず。私はいつも、「情報誌は生き物である」と申しています。読者がどんな思いで表紙を眺めページをめくって下さるか、思いをしっかりと馳せているかどうか。



ありあわせの道具

いちごいちえ
一期一会という言葉がありますが、情報誌も同じ、読者との出会い、広告主との縁を大切にする一号一会なのです。配布エリアへの「地域愛」にあふれ、「地域の元氣」を目的とするハッピーメディア[®]『地域みっちゃく生活情報誌[®]』の未来を、我々はどう描いていくのか。

少子高齢化による人口動態の変化、避けようもない自然災害、難しい先々に向かって、私たちは地域の明かりを灯し続けていかななくてはならないと思っています。それこそが「ニッポンの元氣」に繋がると、信じて疑いません。

人生は有限であり 繰り返すことはできない

人間の社会は、不公平に溢れています。理不尽を感じない時はありません。新聞をめくれば、明るい話題よりも不幸な事故や事件がたくさん掲載されています。政治が悪い、社会に問題があると、当事者以外に責任転嫁する傾向にありますが、不幸を招くに至った

状況には、身から出た錆びの場合もあるように思います。

しかし、どんな境遇であろうと環境であろうと、誰に対しても時間だけは平等にあります。そして、一人ひとりと与えられた時間は有限です。この有限な人生を自覚し時間を有効に使い、それぞれに自らの道を切り拓いていかななくてはなりません。

限られた時間を、人はどう生きるのか。人はなんのために生きるのか。泣いても喚いても「人生二度なし」、たった一回の勝負です。繰り返すことはできません。ふるさとの山河のように、変わらずに存在するものとは違い、人の命はやがて朽ち果てます。

天下国家のために人は生きるものである、と私は考えています。天下国家などと言えば、大仰なと感じるかも知れませんが、人の幸せのために自分は何ができるか。何をささねばならないかを追求する生き方です。人生の勝ち負けとは些細な競い合いではなく、人のために生き、ひいては国家のために生きること。これを実践できるかどうかで、人生の質が決まるのではないかなと考えるのです。

「心の鬆」の養生 速読より味読

「鬆が入る」という言葉をご存じですね。大根や牛蒡に細い隙間ができてスカスカしてしまう状態を言います。人もまた年齢とともに、「心の鬆」をつくってしまいがちです。そんな「鬆」を埋めるために、私は本を読んできました。年齢とともに読む速度が落ち、内容がなかなか頭に入ってこないこともしばしばです。

しかし、速読で大量の情報を理解するのではなく、ゆっくりと味わいながら丁寧に読む「味読」や、心で深く読む「心読」を進めて、「心の鬆」の養生を心がけています。

せっかく生まれ、生かされてきた人生です。「心の鬆」をつくらぬよう日々努めたいと思っています。人が生きるとは究極、「自分と自分の周りの人々のために」、生かして頂いている時間を費やすということです。

私は広告業を通して、「地域経済を活性化」する、地域から「この国を元氣」にする、という生き方を貫いてきました。そしてこれからも、この仕事の意義を理解してもらうために、生涯を使い尽くそうと考えています。一度きりの人生です。悔いなく、存分に、戦い続けたいと思っています。

2024・文月・故郷の夏山演るが如く、如水こ二代目・後藤数次

「地域とともに」が共通のキーワード

地域みっちゃく生活情報誌

読者参加型のプロサッカークラブ応援企画

設立30周年を迎えたJリーグ所属のプロサッカークラブ、ベガルタ仙台。地域連携に積極的に取り組んできたベガルタ仙台と、地域社会への貢献を掲げる当社の思いが合致し、『とみいず!』表紙・巻頭特集・応援企画にて掲載しました。

ベガルタ仙台のチームカラーであるゴールドをまとった表紙に対し、SNS等では発行後まもなくから驚きや喜びの声が多く投稿され、地域の話題となりました。巻頭特集の次ページにて実施した応援企画では、ベガルタ仙台からの協力で試合招待チケットを読者プレゼントとして用意。応募フォームへアクセスできるQRコードは、発行後10日間で1,753回読み取られ、非常に大きな反響となりました。クラブオフィシャルスポンサーの企業やサポーターの店等、企画内の広告欄は幅広い業種が集まり、見応えのある誌面となりました。

『地域みっちゃく生活情報誌』は地域社会に支えられて成り立っているからこそ、今後も各戸配布を通して、地域課題の解決に向けた活動や思いを発信していきます。
(とみいず!編集室・日下)



読者参加型企画が大人気!

地域みっちゃく生活情報誌

QR読み取り数900件超えのスイーツ特集

三重県名張市・伊賀市で発行する『リーガクラブ』6月号では、読者投票で選ばれた人気スイーツ店を紹介する巻頭特集を実施しました。寄せられたアンケート数は2,000件以上。掲載する写真はクライアントがイチオシする商品に統一し、切り抜き、角版写真を組み合わせ、見ていて楽しくなる誌面に仕上げました。

今回の巻頭特集は、読者投票による「おすすめ店」、各店が自信を持って推す「おすすめ商品」、そして情報誌で常に人気の高い「スイーツ」という3つの人気コンテンツを掛け合わせた企画です。プレゼントやクーポンなどの特典は設けませんでした。発行から2週間で各店舗のQRコードの読み取り件数が合計934件に達するなど、読者の皆さんからの高い関心が数字としてあらわれる結果となりました。

『リーガクラブ』は今後も読者の皆さん、クライアント、そして情報誌に関わる全ての人が幸せになれる企画を創出し、地域社会の活性化に貢献していきます。
(リーガクラブ編集室・高林)



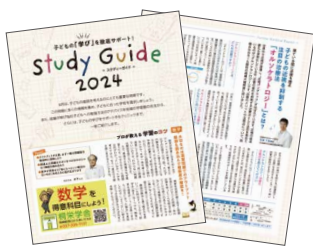
子育て世代のためのセンター版企画

地域みっちゃく生活情報誌

子どもたちの進路選択に役立つ情報を発信

6月は学校にとって、オープンキャンパスや説明会などの情報発信が活発になる時期です。そこで群馬県で発行する『高崎フリモ』『前橋フリモ』では、「Study Guide」と題し、地元の学校や学習塾などを紹介するセンター版企画を実施しています。『地域みっちゃく生活情報誌』の特長である各戸配布体制と、30代～40代を中心とした読者層を捉えた、2022年から続く人気企画です。

「Study Guide 2024」では、県内の私学初等部から高等部、学習塾、医療機関など学びをサポートする視点も含んで出稿いただき、8ページにわたる情報を読者に届けることができました。「進学を考えるうえでとても参考になった」「各学校の特長を比較しやすいのでありがたいです。子どもと一緒に読みます」など、読者からはうれしい声が続々と届き、今年の企画も成功に終わることができました。これからもクライアントと読者双方のニーズを的確に捉え、有益な情報を届けられる企画づくりに努めていきます。
(前橋フリモ編集室・遠間)



情報誌の信頼性を活かした情報発信

地域みっちゃく生活情報誌

正しい医療情報を地域へ

全国的に問題となっている救急医療体制のひっ迫。この問題を解決しようと、三重県松阪市では、3カ所の基幹病院に救急搬送された患者のうち、入院に至らなかった軽症者などから「選定療養費」を徴収する新制度をスタートしました。ところが「救急車の有料化」という誤った情報が広がり、「必要などきに、迷わず救急車を呼びにくくなる」といった声が上がりました。

そこで地域の皆さんに新制度を丁寧に伝えるべく、市から予算をいただき、選定療養費が導入されるきっかけになった経緯や、どのような場合に選定療養費が必要になるのかなどを『ふぁみんぐくらぶ』へ掲載。読者からは「救急車を呼ぶ基準や電話サービスの番号を、早速目の届く場所に貼りました」「地域医療に関する特集を定期的に掲載してほしいです」といった声を多数いただきました。

デマやフェイクニュースの拡散など、情報の信頼性が揺らいでいる今。「ふぁみんぐくらぶ」はこれからも地域の皆さんが安心して正しく情報を受け取れる媒体であり続けます。
(ふぁみんぐくらぶ編集室・谷口)



CHUCO CLUB

第46回定時株主総会開催

6月26日、岐阜本社で第46回定時株主総会を開催し、株主の皆様には第46期の事業報告および計算書類の報告をいたしました。決議事項の1議案に関しましては、原案通り承認可決されました。

第46期は「ABCX」をスローガンに変革を続け、過去最高の連結売上高、3期連続の増収増益(営業利益・経常利益)となりました。第47期は「Data Driven(データドリブン)」をスローガンに、実践データとAIで反響の出る広告を創る集団となり、広告価値を高め、地域経済の活性化や地域課題の解決を継続して推進します。株主の皆様を含め、すべてのステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも当社に対するご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(管理本部・後藤)

おかえりなさい! また一緒に頑張ろう! 2024年度 育休復帰者研修を実施

去る5月29日に育休復帰者研修を実施しました。年に1度の研修とあって、すでに復帰してから数カ月が経過した受講者もいましたが、基本は新年度が始まってすぐ、待機児童が解消されるタイミングで毎年実施しています。本研修では、加納事業部長の体験談、ES部・伏屋部次長の講義を中心に、仕事と育児を両立していくためのノウハウを提供し、また人財開発担当からはおさらいとして、産休・育休期間に進んだ社内システムの変更点などを伝えました。とくに第一子の産休・育休から復帰した場合は、初めての経験ばかりで、毎日の身体的・精神的なストレスも多大なものとなります。受講者は、家庭で理解を得られないいつらさから時折涙を見せつつも、悩みを分かち合うことができました。

復帰された皆さん、戻ってきてくれてありがとうございます!そして、復帰者の職場の皆さん、ご理解とフォローをよろしくお願いします。皆で支え合いながら一緒に頑張っていきましょう。

(人財開発担当・延原)



働き続けるために! 「仕事と生活の両立」のヒント

育休前と後でなんら能力は変わりません。ただ違うことは「時間制約がある働き方」となるだけです。時間制約のあるなかで、どうしたら貢献ができるかを考えてほしいです。そのためには、一緒に働く仲間の理解も必要です。育休復帰者がいる部署の皆さんには、柔軟な対応と温かい支援をお願いしつつ、一緒に働くことでチーム全体が成長する機会と捉えて、共に前進しましょう。
(ES部・伏屋)



参加者の声

育休前のように働けないもどかしさを感じていましたが、長期的な視野を持つ大切さを学びました。今は目の前にある仕事一つずつ丁寧に進め、徐々に会社への貢献度を高めていきたいです。

拠点には子育ての先輩がたくさんいます。先輩方も通ってきた道ですので、感謝の気持ちを伝えながら遠慮せずに相談し、知恵を借りて子育てと仕事を両立していきたいです。

編集室開設のお知らせ

当社は下記の通り4つの編集室を開設しましたので、お知らせします。

オレンジクラブ編集室

住 所	連絡先
〒444-0116 愛知県額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 ライトハイツG棟 1階	TEL 0564-83-7763 FAX 0564-83-7765

まいとん編集室

住 所	連絡先
〒649-6234 和歌山県岩出市高瀬84-2 岩出N・Dビル201号室	TEL 0736-67-7630 FAX 0736-67-7631

はつカラ編集室

住 所	連絡先
〒738-0024 広島県廿日市市新宮2-1-10 ホームオアシス新宮101号	TEL 0829-30-6673 FAX 0829-30-6674

フリモかわら編集室

住 所	連絡先
〒470-2102 愛知県知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 緒川下汐田店舗	TEL 0562-85-1077 FAX 0562-85-1079



▲オレンジクラブ編集室



▲まいとん編集室



▲はつカラ編集室



▲フリモかわら編集室

部署だより NO.126

エリア開発室

『はつカラ』編集室



▲『はつカラ』編集室スタッフ

このたびハッピーメディアの空白県であった広島県に初進出、6月に廿日市市に新たな編集室を開設いたしました。瀬戸内海の美しい自然と中国山地の豊かな緑に囲まれた廿日市市は、東隣・広島市のベッドタウンとして発展を続ける一方、世界遺産・厳島神社を擁する安芸の宮島など、歴史と文化が息づく魅力的な街です。

この地で発行する『はつカラ』は、廿日市市の暮らしをより豊かに、カラフルにしたいという願いを込めて名付けました。「20日(はつか)から」皆さんにお届けする、暮らしに役立つ情報や地元の魅力を発信する情報誌として、地域活性化の一助となることを目指します。

日本全国で発行している姉妹誌の成功事例やノウハウを活かし、廿日市市の皆さんに愛される情報誌づくりにまい進します。今後広島県内をはじめ山陽地方の他市町村でも創刊し、姉妹誌ネットワークを広げていきたいと考えています。広島県第1号となる『はつカラ』は、8月20日創刊です。どうぞご期待ください。

(はつカラ編集室・岡崎)

編集後記

北海道でうれしい産声が上がりました。『地域みっちゃく生活情報誌』ブランドを創刊するためには、第一に配布網を確保することが必要です。今回、最初は困難と思えたエリアでしたが、手を取ってくださる配布員さんたちと出会うことができて創刊が叶いました。また、一面に掲載した編集長挨拶にも記載がありましたように、地域からの温かい応援によって編集室員は勇気をいただきました。これは創刊誌に限らず全国で発行している136誌すべて同様です。今後、『地域みっちゃく生活情報誌』が各地域で育む交流や地域経済のサイクルを全国へ広げ、日本の経済を発展させるような情報インフラに成長することで感謝をお返しできたらと思います。私たちのSDGs、持続可能性の原動力は地元からのエールです。

(広報・マーケティング担当 岡本)

VCTOPIC

埼玉県『TOWN NEWS Seien』株式会社ビーアイビー

新一万円紙幣発行で沸く地域をさらに盛り上げる

『TOWN NEWS Seien』配布エリアの埼玉県深谷市は、渋沢栄一の生誕の地。深谷市にとって新一万円紙幣発行は、2019年の発表から待ちわびていた話題です。

2号連続となる新紙幣特集の第一弾として、6月号の巻頭企画では新紙幣発行に向けたさまざまな取り組みを紹介し、7月号の市長インタビューに繋げる形にしました。巻頭に

続く関連キャンペーン特集は、地域を盛り上げるための広告企画とし、地元店舗に協力いただく形で掲載となりました。

読者からは「こんなに関連グッズがあったとは知らなかった」「お店に足を運んでみたい」「新紙幣がより楽しみになった」などの感想が届きました。7月号は表紙からおもわず笑ってしまうようなスペシャル号です。ぜひお楽しみに!



▲2024年6月号表紙



中広が社業を通して実践するSDGsの取り組み 持続可能なまちづくりのために

中広は創業以来、徹底して地域と共に歩んできました。だからこそ、地域の人々が地域の良さを知り、誇りを持ち、地域で生活する喜びを感じられるような「持続可能なまちづくり」に寄与することは使命であり、「持続可能な社会」にとって必要不可欠であると考えています。私たちは情報誌インフラを持つ企業として、地域の持続可能な発展に尽力してまいります。

中広が向き合う SDGsの目標とターゲット

世間ではサステナビリティが盛んにうたわれていますが、中広は従来より企業理念として「広告業を通した『地域社会への貢献』」を掲げています。



これはSDGsの17の目標のうち、8「働きがいも経済成長も」、11「住み続けられるまちづくりを」と思いを一にしています。労働環境においては、男女比率で女性割合が約70%、産休育休が毎年約20人であり、5「ジェンダー平等を実現しよう」は、当社においては実現しているといっても過言ではありません。

また、3「すべての人に健康と福祉を」、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」の思いから、自社メディアをハッピーメディア®と称してフリーマガジン事業を推進。安価（無料）で公平な配布によって地域の経済成長と地域福祉（豊かさ・幸せ）に寄与し、持続可能で強靱な各戸配布という情報インフラを築いています。当社ではサステナビリティ課題である「地域格差」や「世代間格差」の解消を常に意識し、発行元を明示した信頼性の高い情報インフラを日本中の世帯に張り巡らせることを経営目標としています。

サステナビリティへの 多彩な取り組み

当社のサステナビリティへの具体的な取り組みとしては、全国の編集室などが各地で行う清掃活動等のCSR活動に加え、2018～20年

に愛知県で実施した「交通事故死亡者数全国ワースト脱却キャンペーン」など、地域課題を解決するための取り組みにCSVの考え方を導入し、持続性を高めています。

一方で、2018年から始めた「児童虐待防止運動、189（いちばやく）認知度向上キャンペーン」は、2023年11月、全国各所をオレンジ色にライトアップすることで児童相談所虐待対応ダイヤル189番を啓発する「#にっぽんオレンジシンボル運動」へと展開。各地の拠点で事業を営む当社グループだからこそ可能な全国的なCSR・CSV活動として、北は北海道から南は沖縄まで、多くの企業や行政施設にご賛同いただくことができました。

加えて、サステナビリティ課題の「脱炭素化」についても、事業活動にかかるエネルギー消費により発生する炭素量の計測と削減への取り組みを検討しており、フリーメディア事業の主な原材料である紙資源についても、調達先の選定にあたって脱炭素化の取り組みを考慮しています。



持続可能な社会を作る その輪の真ん中に

自らが17の目標と向き合い、サステナビリティを目指すこともさることながら、中広では

情報を伝えるメディア企業として、また、広告の力で人を動かすアドマンとして「1人の100歩より100人の1歩」を考慮しています。その具体例が6月号で各情報誌が行った「SDGs特集」です。



特集では、SDGsと向き合う地元企業の取り組み内容を紹介することで、企業の思いや姿勢を伝えと共に、地域読者の方々にSDGsをより身近なもの、自分事であると認識していただくことを目指しています。優れた1社の100歩と、地域住民全体が目標を意識した1歩。地域のサステナビリティにとってどちらが有効でしょうか。地域全体の目線が揃うことで地域力は高まり、自立し、持続可能性の向上につながるのだと信じています。

地域に住まう従業員が地元の魅力を発掘し、取材編集して毎月一冊にまとめ、地域の一軒一軒に手配りしていく。読者は地域の魅力を知り、地元の店舗に足を運び、あるいは就業し、地域の経済活動が活性化する。この小さな経済活動の輪が日本全体に波及すれば、日本の経済は強固なものになる——これこそが私たちの目指す一番のサステナビリティです。その輪の真ん中にハッピーメディア®を。ハッピーメディア®で日本を元気にしてまいります。

会社概要	商 号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード [2139]		
	創 業	1978年		
	資 本 金	4億430万円		
	従 業 員	445名 グループ全体 679名 (2024年6月末現在)		
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業 (ボランティア・チェーン)		
理 念	広告業を通して「地域社会への貢献」			(地方創生に!)
社 是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除			(社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)
社 訓	飲水不忘掘井人			(感謝の心で!)
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど		https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp	

第47期 基本方針
スローガン Data Driven テーマ 全員経営

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ (WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活 (楽天) 他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE (情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク (JLMN)
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X (旧 Twitter) リンク集はこちら
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会



営業拠点

■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F	《福井県》 きらめくらぶ編集室 敦賀市神北40-277-2 1F TEL.0770-24-2622	EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745	Bellve club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400	《奈良県》 かしるくらぶ編集室 橿原市葛木町260-1 1F TEL.0744-48-0606	■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139
■ FM・SP事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158	《岐阜県》 GiFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512	《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集室 【中・村・中川・港区版】 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111 【中央・西区・北区・名東・天白・南区版】 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602	よっかいちai編集室 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562	《和歌山県》 まいなゐが・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285	■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285
AO編集室 小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	《宮城県》 とみずい！編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《山梨県》 Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 【Wao!】TEL.0584-75-1960 【mintoup】TEL.0584-77-4088 【はしまる】TEL.0584-71-6226	リー・ガクラブ編集室 名張市溝之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156	《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446	■ グループ会社 株式会社関西ぼど 本社 大阪市西区粉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113
《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F 【高崎フリモ】TEL.027-353-8714 【前橋フリモ】TEL.027-353-8711	《静岡県》 さきっぺ！編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792	《三重県》 Cocon club・ちるくらぶ 安城市東郷町北山台4-1-6 【ちるくらぶ】TEL.0561-42-4850 【さんごくらぶ】TEL.0561-42-4885 【かなうくらぶ】TEL.0561-42-4855	つばさ編集室 名張市溝之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156	《大阪府》 くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510	■ 株式会社関西ぼど 大阪支店 大阪市西区粉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113
《千葉県》 伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117	《東京都》 クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881	《新潟県》 リゾル倶楽部編集室 大崎市松本町2-29 TEL.0568-39-6111	ふあみんぐくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623	《広島県》 はつかつら編集室 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673	■ 株式会社関西ぼど 東京支店 東京都中央区新富1-10-10 1F TEL.072-827-0817
《埼玉県》 おきな編集室 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.045-225-9267	《茨城県》 まきと編集室 水戸市西原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400	《福山県》 マイタウン西區版編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250	イセラクラブ編集室 伊勢市岩淵3-6-5 2F TEL.0596-63-8282	《福岡県》 まきと編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250	■ 株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧東町125 TEL.0586-86-0608
《香川県》 おきな編集室 高松市東町1161-7 2F 【おきな】TEL.0940-72-6102	《徳島県》 おきな編集室 徳島市東町1161-7 2F 【おきな】TEL.0940-72-6102	《佐賀県》 月刊TOSS編集室 鳥栖市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331	《滋賀県》 ほてじゃ倶楽部編集室 長浜市宮司町1161-7 2F 【おきな】TEL.0940-72-6102	《山形県》 山形オフィス 山形市露訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 東京支店 東京都中央区新富1-10-10 1F TEL.072-827-0817
《富山県》 おきな編集室 富山県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《石川県》 おきな編集室 石川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《福井県》 おきな編集室 福井県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《三重県》 おきな編集室 三重県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《大阪府》 おきな編集室 大阪府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 大阪支店 大阪府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《愛媛県》 おきな編集室 愛媛県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《高知県》 おきな編集室 高知県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《徳島県》 おきな編集室 徳島県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《香川県》 おきな編集室 香川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《愛媛県》 おきな編集室 愛媛県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 愛媛支店 愛媛県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《高知県》 おきな編集室 高知県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《徳島県》 おきな編集室 徳島県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《香川県》 おきな編集室 香川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《愛媛県》 おきな編集室 愛媛県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《山形県》 山形オフィス 山形市露訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 山形支店 山形県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《新潟県》 おきな編集室 新潟県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《富山県》 おきな編集室 富山県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《石川県》 おきな編集室 石川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《福井県》 おきな編集室 福井県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《滋賀県》 おきな編集室 滋賀県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 滋賀支店 滋賀県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《岐阜県》 おきな編集室 岐阜県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《愛知県》 おきな編集室 愛知県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《三重県》 おきな編集室 三重県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《京都府》 おきな編集室 京都府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《大阪府》 おきな編集室 大阪府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 大阪支店 大阪府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《奈良県》 おきな編集室 奈良県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《和歌山県》 おきな編集室 和歌山県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《鳥取県》 おきな編集室 鳥取県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《徳島県》 おきな編集室 徳島県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《香川県》 おきな編集室 香川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 香川支店 香川県市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《高松市》 おきな編集室 高松市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《丸亀市》 おきな編集室 丸亀市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《坂出市》 おきな編集室 坂出市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《三木市》 おきな編集室 三木市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《高松市》 おきな編集室 高松市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 高松支店 高松市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390
《宇治市》 おきな編集室 宇治市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《京都市》 おきな編集室 京都市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《大阪市》 おきな編集室 大阪府市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《名古屋市》 おきな編集室 名古屋市中区市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	《福岡市》 おきな編集室 福岡市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390	■ 株式会社ケイ・クリエイト 福岡支店 福岡市市街地1-1-1 2F TEL.023-616-7390

※従業員数はグループ会社含む ●…地域まっチャク生活情報誌®